

○悔しさをバネに替えて

安倍新総理の閣僚人事も一段落しました。総裁選挙の論功行賞と言われた山本有二金融大臣や佐田玄一郎行革大臣などは、昨日まで議運委員会で私が丁々発止やっていたメンバーです。菅義偉総務大臣は、去年、北朝鮮の経済制裁法案での交渉相手でした。塩崎恭久官房長官とは、在外公館などでの外交論議では必ず顔を合わせます。公明党の冬柴鉄三国土交大臣などは、三重県の亀山市出身で、昼生には同級生がいっぱいいます。こうして身近な人たちが入閣をしていくと改めて悔しい気がします。いつまでも野党であり続けてはダメだと、改めて自分たちに言い聞かせています。

舞台は、いよいよ国会での論戦に移ります。29日には、総理の所信表明演説。2日から代表質問が始まります。今回の民主党内人事では、私はとりあえず、予算委員会の理事として論戦の現場に復帰をしました。同時に、国対は引き続き筆頭副委員長を務めることになりました。

内政では格差の是正と教育の問題。外交ではアジアとテロ特措法への対応など、重要な課題があります。安倍態勢は、小泉政治の負の遺産を拡大して受け継ぐ政権だと見ました。落ち着いた、腹のすわった議論をしていきたいと思っています。

○臨時国会提出の法律案

この臨時国会で提出されそうな42法案のうち主なものが見えてきました。

まず、「教育基本法」。私達民主党も対案を出しています。国家を前面に出した上からの押し付けに対して、現場や地域社会、国民の思いを積み上げていこうとする下からの改革が争点です。自民党はすぐに採決をといいますが、私達は、憲法並みに時間をかけようと主張しています。同時に、憲法関連の「国民

投票法案」も前回同様に特別委員会で議論が続きます。

「共謀罪」を、与党はもう一度やろうとしています。集まって相談ただけでお縄は、ひどすぎる。警察権力が恣意的にならないように、法律の枠組みにもっと知恵を出す必要があります。

アフガニスタンへの派兵の期限が切れることに対して、これを延長しようとする「テロ特措法」の改正案も出てきます。インド洋での重油の提供や航空自衛隊の輸送。私も過去に視察に入りました。ブッシュのテロ対策の誤りがアメリカの中間選挙の最大争点になっています。ブッシュと自衛隊にこだわりすぎる安倍さんに論戦を挑みます。

貸金業のグレーゾーン金利、生命保険加入などを融資条件にする無理な取立てなどで自殺などに追い詰められる現状を改善しようとする「貸金業法」の改正もあります。

その他、耐震強度偽装問題の続きの「建築士法」の改正、医者への偏在や産婦人科、小児科医の不足問題への対応などが続きます。社会保険庁の改革については、一旦出そうとしていた法案を引っ込めて出しなおよすようです。私達の主張する取り潰しが正しいのだと思います。すべて、来年の通常国会に向けての前哨戦です。

○すっきり行きたい知事選挙

知事選挙が気になります。愛知県は民主党が前の犬山市長を独自候補として擁立しました。三重県では、野呂知事が、ぜひ態度をはっきりして欲しいと思っています。初回、私たちは、民主対自民の対決の構図で戦いました。今回も、そうした選択肢を県民に作ることで、政治にメリハリが出てくると思っています。さらに、具体的なマニフェストを掲げることは、県民に対する義務です。県民の気持ちにまっすぐ向きあう選挙をしたいものです。